1 伊豆七島を眺めながら爪木崎へ 須崎遊歩道（一般向・家族向）

歩程 約2時間45分

下田港の東にポコッと突き出た半島が須崎半島である。その南端の漁港、須崎から水仙の咲く爪木崎まで2・8kmのハイキングコースが**須崎遊歩道**。道幅1～1・5m、整備のいきとどいたコースには、6ヶ所の休憩所、案内標識、解説板、距離標識が設置されているので安心して歩ける。

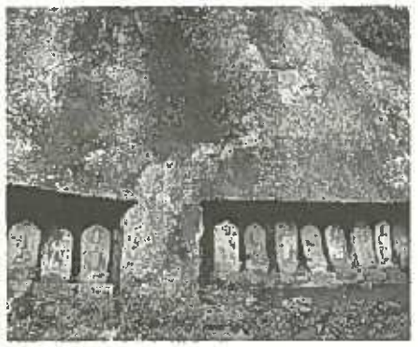
コースは、伊豆七島が一望できる海岸線を歩く**岩場コース**と静かな山道**コース**、さらに細間の段までの新ルート・**海岸コース**が開設されたので、須崎を基点にして岩場コースあるいは海岸コースを経て爪木崎へ行き、山道コースを経て須崎へ戻るコースがいい。

伊豆急下田駅から（南伊豆東海バス）**須崎海岸・爪木崎行**バスで12分、**須崎海岸**で下車し海へ向かって左方向に進む。5分ほどで天草の網干し場、船だまりの小白浜に着く。

ここから左に民家の間を入るのが岩場コースで、港をさらに行った堤防の所が海岸コース。海岸コースは岩場コースの南側（海側）を歩くのでそれだけ海の展望がよい。

ここでは海岸コースを行く。途中、小白浜から左に民家の間を抜け、急坂を上がって庚申堂へ寄っていこう。

石段を上がると正面にエンマ様のお堂、その右上の石室に33観音が祀られている。


▲33観音

小白浜に戻りたくさんの船が係留されている船だまりを見ながら進むと港の外れに遊歩道の案内板がある。岩場のトラス橋を渡り、木段の歩道を次第に高度を上げていく。心地よい潮風と海の展望が楽しめる道だ。

いったん樹林帯に入ってから細間の段を見下ろす高台に出ると、オオ！と思わず声がでるほどの絶景が待っている。下れば細間の段に出る。

細間の段は、江戸時代から明治にかけて石材を切り出した場所。風や波に浸蝕されているが、切り出した跡があちこちに見られる。岸壁に立つと、利島、新島などの伊豆七島が洋上に浮び、沖には大型船がしきりに行き交うのが望める。

▲細間の段

岩場コースに出て、右へ下り岩の多い海岸線を行く。少し先の小さな入江の中ほどから樹林帯に入る。海岸特有の亜熱帯植物が繁るうっそうとした道で、枝道もあるが案内標がしっかりしているので安心して歩ける。

樹林帯を抜け木はしごを上ると前がパーッと開け、正面に爪木埼灯台が見える。ベンチがあるので一休みしていこう。

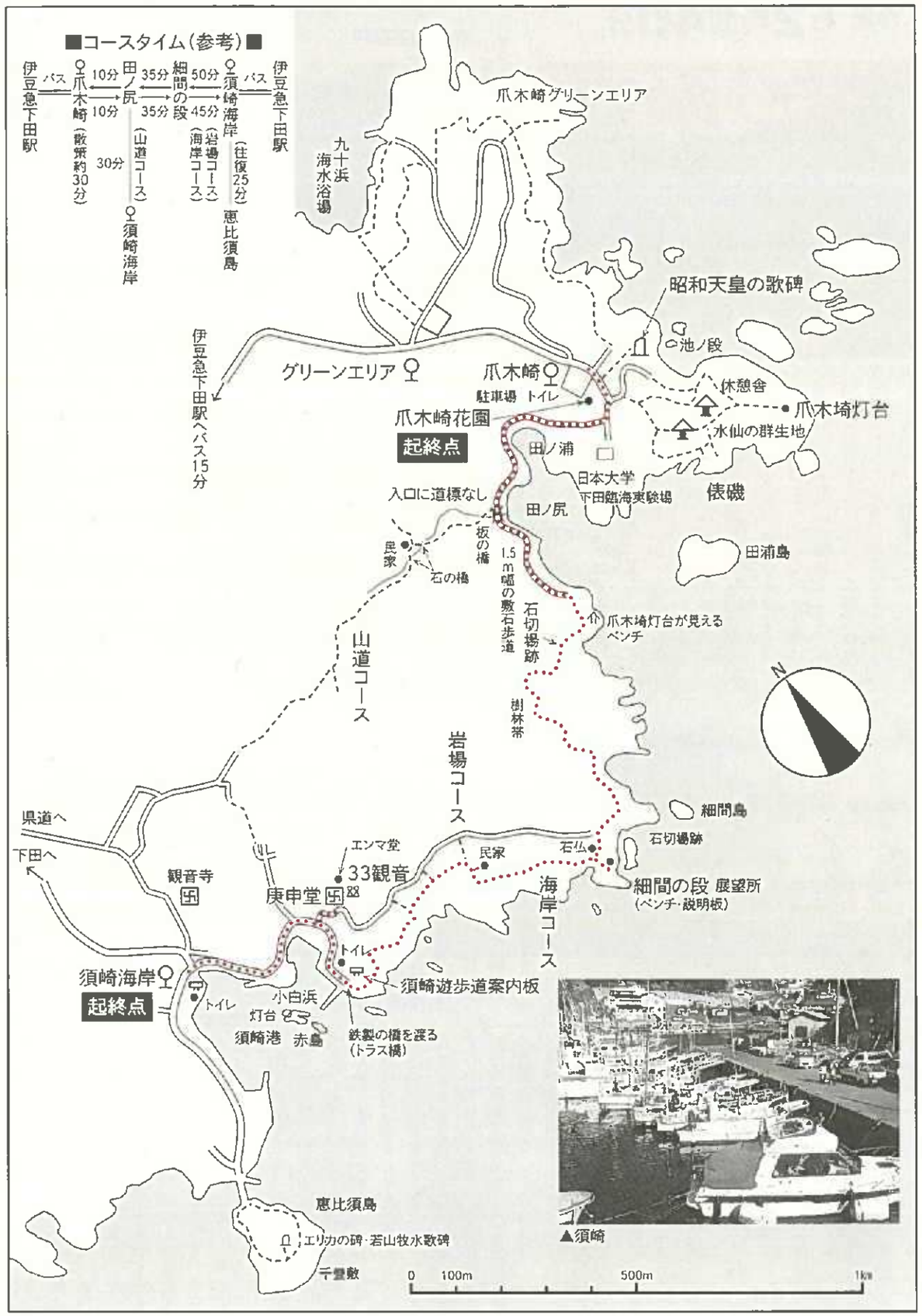
ここからは岩場に敷石された歩きやすい歩道を行く。

田ノ尻へ来ると山道コースの丁字路。（帰りはここから須崎に戻る）。

爪木崎周辺は自然公園となっていて、遊歩道が整備されている。見どころは白亜の無人灯台、玄武岩の美しい俵磯、亜熱帯植物園、12月から1月の野水仙の群落、夏の天草干し、ハマユウの群落、秋はイソギク、ツワブキの群生、そして昭和天皇・皇后両陛下の御歌の碑などなど。

帰りは**田ノ尻**まで戻り、沢に沿って笹原の山道へと入る。桜や椿も多く見られ峠らしき所を越えると、あとは畑の中の下り。正面に小さな島居。左へ曲り集落の中の坂道を下る。途中、伊豆横道33観音の21番札所**観音寺**に詣でていこう。**須崎海岸**バス停まではもう近い。時間のある人は、このまま右側の海岸づたいにエリカの咲く**恵比須島自然公園**まで行ってみよう。

▲水仙が咲く爪木崎



▲須崎